

### ③なみだ橋

組曲「しながわ物語」第11番～浜川橋=離別のバラード

現在、浜川橋と呼ばれる通称なみだ橋。慶安四年(1651年)、品川に鈴ヶ森刑場が設けられました。罪人は、裸馬に乗せられて江戸府内から刑場に護送されてきました。罪人に



昭和49年浜川橋 しながわWEB写真館(品川区)提供

としてはこの世との最後の別れの場であり、家族や身内の者には、処刑される者との今生の悲しい別れの場。お互いがこの橋の上で涙を流したことから、この名が付けられました。  
立会川を旧東海道が渡る橋 品川区東大井2-27付近

### ④しながわ花海道

組曲「しながわ物語」第2番～品川の鳥・木・花



しながわWEB写真館(品川区)提供

「勝島運河の土手に花畑をつくろう」を合言葉に、しながわ花海道プロジェクトが平成14年7月に開始されました。勝島運河の土手は1.5m四方の区画が約1200枚あり、その区画をボランティアの一般の方や地元小学校の児童たちがそれぞれに管理。春は菜の花・秋はコスモスと季節を代表する様々な花々が咲き乱れます。

勝島運河 北側土手 品川区東大井2-16～17付近

### ⑤鮫洲八幡神社

品川区東大井1-20-10

組曲「しながわ物語」第5番～鮫に追われた若者と観音様

鮫洲の名の由来は、海晏寺の建立と密接な関係がある。建長三年(1251年)、現在鮫洲と呼ばれる辺りに鮫が打ち上がり、地元の猟師が腹を捌いた所、中から正観音菩薩があらわれ海晏寺を建立した。そこからこの一帯を「鮫洲」と呼ぶようになる。また、鮫洲八幡神社は創建に関して不明だが、古くは御林八幡宮と呼ばれ地名の変遷と共に何時しか鮫洲八幡神社と呼ばれるようになった。

しながわWEB写真館(品川区)提供



# 大井町 駅周辺

## しながわ 組曲「しながわ物語」を巡る

遠ざかる愛しい影よ  
別れゆく愛しい人よ  
川の流れそのままに  
人の運命の浮き沈み

組曲「しながわ物語」第11番～離別のバラード

品川逍遙

写真 品川歴史館

一般社団法人 しながわ観光協会  
SHINAGAWA TOURISM ASSOCIATION

☎03-5743-7642  
https://shinagawa-kanko.or.jp/  
〒140-0014 品川区大井1-14-1 大井1丁目共同ビル1F  
【営業時間】午前9時30分～午後5時 【休館日】祝日・年末年始



## 組曲「しながわ物語」とは

平成13年2月、東海道四百年祭を記念して上演された初の区民ミュージカル「しながわ物語」。品川在住の作詞家、作曲家により製作されたミュージカルが合唱・管弦楽・吹奏楽用に編曲され、組曲「しながわ物語」と生まれ変わりました。組曲「しながわ物語」は品川の名所、旧跡、古今の物語をもとにして創られた15の楽曲から構成されており、バラエティに富んだ構成の親しみ易い組曲となっております。



### ①養玉院・如来寺 品川区西大井5-22-25

組曲「しながわ物語」第6番～だいぶつ讃歌

大井の大佛(おおいのおおぼとけ)といわれた5体の大仏様が鎮座。門を入ると左側に鐘楼、右手に仁王堂、左手に大雄宝殿。正面に瑞応殿があり、左から釈迦如来、阿弥陀如来、大日如来、宝勝如来、薬師如来の3メートル前後の5体の如来像が安置されている。養玉院は天台宗、天海ゆかりのお寺でもあります。



### ②光福寺 品川区大井6-9-17

組曲「しながわ物語」第13番～大きな銀杏のひとり言

光福寺は、延暦元年(782年)、顕教房栄順律師が天台宗神宮寺として開山。その後、文永二年(1265年)了海上人が、浄土真宗光福寺として再興。境内の大銀杏は品川区の天然記念物。都内最大の銀杏である善福寺の逆さ銀杏と兄弟といわれ、樹齢は約800年、高さ40m近い巨木となります。



### 1 伊藤博文の墓所 品川区西大井6-10-18

明治維新後、憲法制定に尽力した初代内閣総理大臣。明治42年10月26日に中国・パルピンで暗殺された。毎年10月26日の命日には墓前祭が行われます。この墓所は伊藤家だけのお墓となります。



しながわWEB写真館(品川区)提供

### 2 大井・原の水神池 品川区西大井3-1

この遊水池は、昔農家が出荷する野菜を洗った洗い場で傍らの水神社は水の恵みに感謝した農民が祀ったもの。かつて水神が眼の神様とされ、池の水を持ち帰り眼病の治った者は池に鯉を放す風習があった。滝上りの鯉が彫られた水神社の碑と並んで鯉の供養のための鯉塚もある。



### 3 品川歴史館

品川区が旧安田財閥・安田善助のお屋敷あとに1985年に開館。昭和初期に建てられた茶室「松滴庵」と品川歴史館建設中に発見された「水琴窟(地中の甕に水滴が反響する装置)」が有名。

品川区大井6-11-1 ☎03-3777-4060

開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)  
休館日：毎週月曜日・祝日・年末年始・展示替期間  
(日曜日と重なった場合は開館、月曜日と重なった場合はその翌日も休館)  
入場料：一般100円/小・中学生50円  
※品川区立・区内在住の小中学生、70歳以上の方、障害のある方は無料。  
※特別展開催時は別料金になります。

品川歴史館庭園



桜名所

トイレ

### 4 路地の仏像

来迎院石造念仏講供養塔。一番右側の堂内にある地藏菩薩像二基と、堂の外にある笠塔婆。堂内の地藏菩薩は右は明暦二年(1656年)、左は万治二年(1659年)に造られた。笠塔婆は寛文七年(1667年)に造立、南無阿彌陀仏と彫られていて、いずれも大井村の念仏講が造立。念仏講とは頼母子講の前身で鎌倉時代の相互扶助団体です。

品川区大井6-15-22



### 5 坂本龍馬像 品川区東大井2-25-22

土佐藩・鯨洲抱屋敷跡には浜川砲台が築かれたが、ペリーが2度目に来航した際には、坂本龍馬も砲台要員として配置されていた。当時、龍馬は20歳、修行のために江戸へ出ていた。千葉道場で剣術を学んでいたが、ペリー来航で佐久間象山の門下生となり、西洋砲術を学ぶことになる。



### 6 浜川砲台 品川区東大井2-26-18

土佐藩・鯨洲抱屋敷跡。嘉永六年(1853年)、ペリーが来航し幕府に開国要求を迫る。これに脅威を感じた幕府は、江戸の直接防衛のために品川沖に11基の洋式砲台を計画。浜川砲台は土佐藩屋敷内に嘉永七年(1854年)、2,300坪の広さに砲台8門が建造された。

